

松本城へようこそ

松本城は、日本で最も古い城の一つである。戦国時代の 16 世紀末に建てられた。19 世紀には取り壊されそうになったが、地元住民の熱心な保存運動によって救われた。1936 年に国宝に指定され、1952 年の制度改正で再指定された。1500 年代から 1600 年代初頭の城の時代から現在に至るまで現存する十数城の一つである。

現存する 12 城の中で、松本城の設計は独特である。大天守、乾小天守、渡櫓の三棟は、1594 年、石川家の時代に建てられたものである。1634 年、松平家の時代に辰巳附櫓と月見櫓が追加された。このように、戦時中と平時の建築様式が混在しているのが、この城の特徴である。

おもてなし隊に会いに行こう！

松本城のおもてなし隊は、伝統的な鎧や衣服に身を包み、城内を歩いている。QR コードを読み取ると、松本城にゆかりのある歴史上の人物について詳しく知ることができる。